

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに ... それが社会福祉協議会の目標です



「子どもに野菜を食べさせてあげられるのでありがたい」「野菜が高いので助かります」そんな声がたくさん！野菜を渡すことでひとり親家庭を応援するグリーンフードパントリー事業（2021年10月スタート）では、これまでに延べ5,000世帯を超える家庭に野菜を渡すことができました。

その野菜を毎日提供して下さるのが前津にあるJAふくおか八女・よらん野さんです。「まだ食べられる野菜だが、販売することはできない。そのような野菜を有効活用できないか」という店長の下川文生さん（写真左上）からの相談がきっかけでした。

この事業を開始した後も、下川さんが、農業団体と社協を繋げてくださるなど、食を通じた支援が広がっています。そんな下川さんから、食の支援への思いを聴きました。

「もったいない」という
思いが原動力

店舗を経営する中では、どうしても売れ残りは処分せざるを得ませんでした。

“売れ残り”と言ってしまえばそれまでです。しかし、その商品は、種まきから収穫まで、生産者さんが年月をかけて育ててきた大切な野菜です。

それが、やむなく処分されているのを見て、「まだ食べられるのに：もったいない。なんとかならないだろうか」という思いがずっとありました。

「どこかへ寄付ができないだろうか」と知人へ相談したところ、社会福祉協議会を紹介されたことが始まりです。

「誰かの口に入ってくれると嬉しい」「活用してもらえればありがたい」と思っています。

大したことはしていません
できることをしただけ

私は直接野菜を育てているわ

けでもないし、直接野菜を配布しているわけでもありません。大したことはしていません。ただ、自分ができることをしただけです。

結果的によるこんでくれている人がいると聞き、よかったと思っています。

様々な経験をすることは大切

経験や体験、そして人との出会いは大切です。

お母さんと一緒に、社会福祉協議会に野菜を受け取りに行った。職員が笑顔で出迎えてくれた。もらった野菜や果物が美味しかった。例えば、そんな経験が、大人になってからの生きる力になるかもしれない。「あの時、私のことを思っていてくれた人がいたんだ」「大切な野菜を寄付してくれる人がいたんだ」と思い返せる経験は貴重です。

野菜の寄付を通じて、子どもが生きる力を育む手助けができているなら、それは嬉しいことです。

小さな積み重ねが

※**農福連携に**

知り合いの農家さんで、ひきこもりがちの青年が働きだしたということを知りました。

私が直接、ひきこもりの青年を雇うなど、何かをしてあげられるわけではありません。でも、人手不足で困っているという農家さんからの相談があったら、そのエピソードをお話することはできるかもしれません。

小さなことの積み重ねが農福連携につながることもあるんでしょうね。

※**農福連携とは**

農業と福祉の連携のことです。

- (例)
- ・ 人出不足の農家で、ひきこもり青年がアルバイト就労により双方助かる例
 - ・ イモや米の収穫体験の実施による多世代交流
 - ・ 余った野菜や果物を福祉施設や地域食堂へ寄付
- など

農

福

2月 筑後市社会福祉協議会 の 食で応援

ひとり親家庭のための

フードパントリー

お米等を配布します。必要な方は、お気軽にお申し込みください。数に限りがあります。

★**事前申し込み**が必要です！

2月3日(月)12時

～2月7日(金)17時に

Googleフォームからお申し込みください。

※数量限定。期間内でも、定数に達し次第受付終了します。

対象 平成14年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭

配布場所 筑後市総合福祉センター



配布日 2月12日(水) 13日(木) (16時～18時)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969

✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

ひとり親家庭のための

グリーンフードパントリー

JAふくおか八女・よらん野様のご協力のもと、野菜類の無料配布をしています。事前申し込みは不要です。直接総合福祉センターへ来所ください。なお、数にかぎりがありますので、先着順とします。

対象 平成14年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭 ※筑後市在住の方

場所 筑後市総合福祉センター

日時 月～木曜日 : 16:00～18:00
金曜日・祝前日 : 13:00～17:00

予約 事前申し込み不要です。
※先着順。なくなり次第終了します。

回数 広く多くの方にお渡すために1世帯当たり1週間に2回まで



詳細はLINEにて

お知らせしています

登録はコチラ ▶▶



ダブルケアって？

子育ても介護もひとりで抱えこまないために…

子育てと介護を同時進行でおこなうダブルケア。
体験者を講師に迎え、ダブルケアとは何か、ひとりで抱え込まないために大切なことなどを学びます。

と き 3月2日（日）13：30～15：30
受付13：15～

と ころ 筑後市総合福祉センター 2F 大会議室

講 師 ダブルケア大分県しましまカフェ 佐藤 智子氏

参加費 無料

託 児 あり

申込み 筑後市社会福祉協議会

TEL：0942-52-3969 FAX：0942-53-6677
MAIL：info@chikugo-shakyo.or.jp

申込み〆切 2/20

こちらからも
申し込みできます



主 催 筑後市母子寡婦福祉会
介護家族の会コスモスの会
筑後市社会福祉協議会



農事組合法人ファーム島田様よりご寄付



右側：農事組合法人ファーム島田 江崎金重様

農事組合法人
ファーム島田様より、
たくさんのサツマイ
モをご寄付していただ
きました。
食を通じた支援で
活用させていただきます。
ありがとうございました。

精神障害のある人・家族の会です！

ひまわりのつどい

と き 3月8日（土）10:00～12:00
と ころ 筑後市総合福祉センター（野町680-1）
内 容 学習会
「障害のある人の仕事を支援する
機関について学ぼう」
問合せ 筑後市社会福祉協議会
☎52-3969 ☎53-6677
✉info@chikugo-shakyo.or.jp

令和6年度 赤い羽根共同募金実績

10月1日から市民の皆さんにご協力いただいた「赤い羽根共同募金」と「歳末助け合い募金」。それぞれの実績と配分金をご報告いたします。



共同募金

●戸別（世帯）募金	5,887,045円
●資材（世帯・職域）募金	256,376円
●法人募金	1,863,000円
●個人募金	1,737,150円
●職域募金	175,183円
●街頭募金	83,313円
●その他の募金	359,122円
★合 計	10,361,189円

※資材募金とは、ボールペン・図書カード等の購入による募金のことです。

歳末助け合い募金

●歳末助け合い募金 1,364,288円

歳末助け合い募金配分報告

歳末助け合いで集まった額を以下の方にお渡しいたしました。

▼支援を必要とする世帯	671,288円
▼在宅ねたきり高齢者	63,000円
▼在宅心身障害児（者）	630,000円
★合 計	1,364,288円



ご協力ありがとうございました

皆様からのあたたかいご寄付は「住んでよかった」と思えるまちを目指した地域福祉活動の推進のほか、被災地の支援・見舞金に活用されています。また、支援を要する方のために活用されます。

社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

久保 順子様(故 正英様) 上町
 高井良 和代様(故 春實様) 江口
 平野 正幸様(故 サツキ様) 常用

★ 一般寄付の部 ★

○筑後市美術協会様(若菜)から現金の寄付がありました。

★ 計九〇、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部(物品口座)

○野田製菓様(八女市)から黒棒の寄付がありました。

○匿名様(1件)からお米の寄付がありました。

○匿名様(1件)から子ども用オムツの寄付がありました。

○平野正幸様(常用)・高月佳奈子様(流)・匿名様(1件)からオムツの寄付がありました。

○立山康弘様(和泉中)・篠原弘様(二条)から野菜の寄付がありました。

○匿名様(1件)から衣類の寄付がありました。

○匿名様(2件)から食品の寄付がありました。

○ユーコーラッキー37筑後店様(長浜)からお菓子の寄付がありました。

ひきこもり家族相談会

とき 2月20日(木) 13:00~16:00

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

★2月13日(木)17時までには要予約
 (1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

問合せ・予約 筑後市社会福祉協議会
 ☎52-3969 ☎53-6677

不登校・ひきこもりの方の家族会 サルビアの会に来てみませんか?

同じ立場なら話せる! 分かり合える!

とき 2月2日(日) 14:00~15:30

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

内容 学習会

対象者 不登校やひきこもりの方の家族

問合せ 筑後市社会福祉協議会
 ☎52-3969 ☎53-6677
 ✉info@chikugo-shakyo.or.jp

○農事組合法人ファーム島田様(島田)からサツマイモの寄付がありました。
 ○JAふくおか八女よらん野様(前津)から野菜の寄付がありました。

筑後市美術協会様よりご寄付



左側：筑後市美術協会会長 津留誠一様

筑後市美術協会様より、歳末チャリティー展の売り上げの一部をご寄付いただきました。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

障害のある人の兄弟姉妹の会です

ふくおか・筑後きょうだい会

～同じ立場で語り、交流しましょう～

とき 2月16日(日) 14:00~16:00

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ ●ふくおか・筑後きょうだい会
 ✉chikugo_kyoudai@yahoo.co.jp

●筑後市社会福祉協議会
 ☎52-3969 ☎53-6677



【いずれも12月1日~12月31日まで】

○株プレシア様(下北島)からお菓子の寄付がありました

事務局通信

今回のインタビューで、よらん野店長下川さんは、「大したことはしていない。できることをしただけ」と話されました。その言葉が私の中で、一番印象的な言葉でした。

よらん野さん、生産者さん、社会福祉協議会、それぞれの「強み」を生かすことで、グリーンフードパントリー事業になりました。

「強みは当然としてできるので気づかない」という言葉があります。自分の強みは、当たり前のように苦勞せずにできるので、自分では気づきにくいものだということです。

私自身、自分の強みはなんですか?と尋ねられた時、何も思いつかず困ってしまいました。

その時、先輩が、「自分では気づいていないかもしれませんが、あなたのコミュニケーション能力は素晴らしいと思っていますよ」とそう伝えてくれました。

私にとっては、誰かと話すことは当たり前にいつもしていることだったので、自分の強みだと気づいていなかったのだと気づきました。

「大したことはない、できることをする」それが何かを始めることや、続けるために、大切なことなのだと感じたインタビューとなりました。(中)